

～北九州市立大学×(株)エコウッド～

大学と連携して作成した今後のSDGs への取組



北九州市立大学大学院マネジメント研究科の松永 裕己教授は、北九州エコタウンに立地する認定リサイクル企業である株式会社エコウッドにおける今後の経営理念や行動指針などの策定に関し、SDGsの視点からアドバイスを行い、この度、同社の次のステップとしてSDGsを取り入れた計画が出来上がりました。株式会社エコウッドは、合成木材（木材・プラスチック再生複合材）では国内シェアNo.1を誇る企業です。同社は近年のリサイクルビジネスの停滞状況を鑑み、逆にそこに新しい成長の種が見つかる可能性を見出し、新たな戦略を立てました。今回の計画は、単なるSDGsの取組計画ではなく、自社の中期計画にSDGsを取り入れたもので、かつ大学と連携して策定したことは例のないものと思われます。そして、策定したビジョン・プランの社内への浸透のための対話型研修が、下記のとおり実施されます。

- 日時：2020年2月25日（火）
13時30分より
- 場所：北九州市若松区響町一丁目
12番地1（株）エコウッド
- 内容：SDGsを企業戦略につなげるための社内ワークショップ

